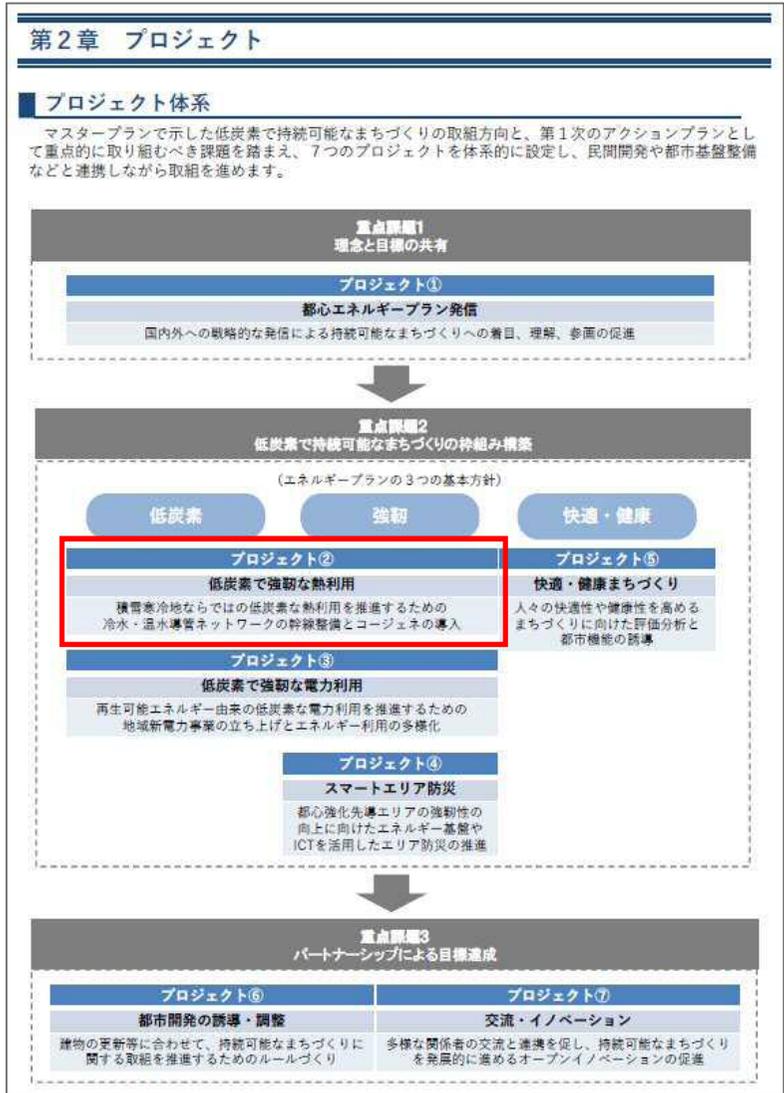


報告事項 3

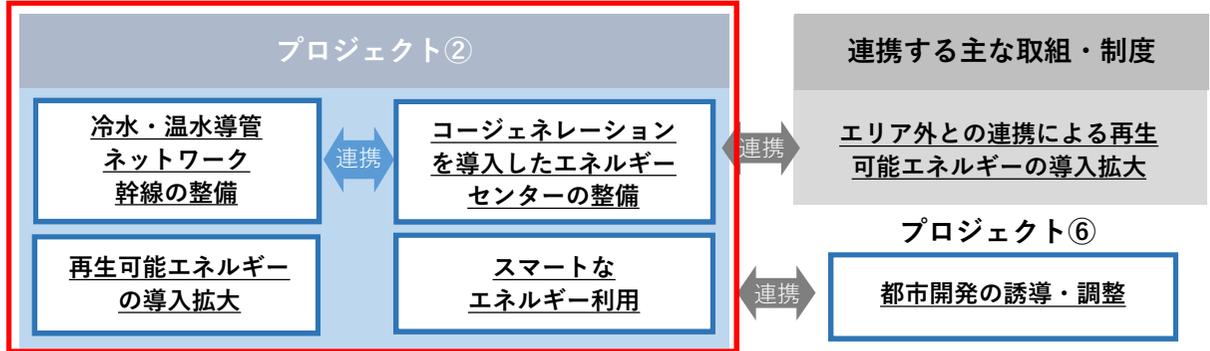
低炭素で強靱な熱利用

都心エネルギープランでの取組の位置付け(プロジェクト②:低炭素で強靭な熱利用)



(都心エネルギーアクションプランP.14)

達成指標	目標値 1 (2023年度)	目標値 2 (2030年度)
地域熱供給の熱のCO ₂ 排出係数	0.059kg-CO ₂ /MJ以下* (2012年比9%以上削減)	0.055kg-CO ₂ /MJ以下* (2012年比15%以上削減)



【プロジェクトの基本的な考え方】

コージェネレーション排熱や再生可能エネルギーの熱利用の受け皿となる地域熱供給を拡充する。

既存の高温水の導管ネットワークを活かしながら、建物の更新や地下歩行空間整備などと連動して段階的に冷水・温水の導管ネットワークへと転換を進め、高効率で強靭な次世代型インフラへと再構築する。

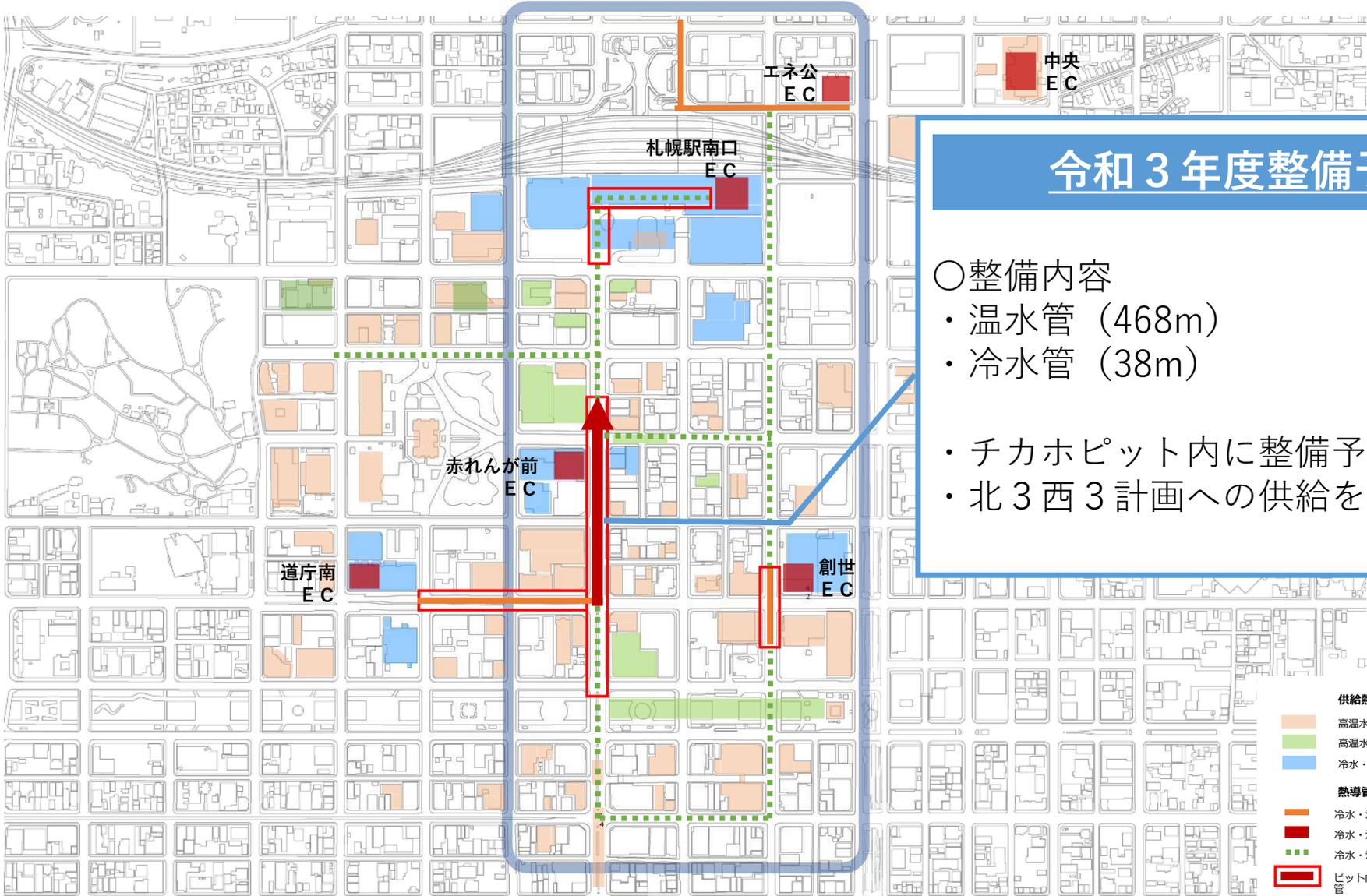
まずは都心強化先導エリアを中心に、冷水・温水導管ネットワークの幹線を整備し、沿道の建物の更新や土地利用の共同化に合わせ、接続利用の拡大とエネルギーセンターの整備を進める。

プロジェクト②:低炭素で強靱な熱利用(報告)

令和2年度の実施内容

- **ICT等を活用した熱電利用の最適化に関する先行事例の調査**
先行事例として北4東6街区事例、新さっぽろ駅周辺地区の計画について確認。
今年度委託業務内で、他の事例について調査。
- **開発協議と連動した、エネルギーセンター整備およびネットワーク接続協議の実施**
大規模開発等を含む様々な開発計画に際し、エネルギーセンター整備およびエネルギーネットワーク接続にかかる調整実施。
「都心における開発誘導方針」に伴う容積緩和を予定する事業者との協議実施。
- **札幌駅前通への熱導管幹線整備に関する調整**
チカホ躯体内への冷水・温水導管整備に関する調整の実施。
- **「プロジェクト⑥：都市開発の誘導・調整」との連動**
熱エネルギーの効率的な面利用についても協議、評価項目として整理中。

プロジェクト②: 低炭素で強靱な熱利用(報告)



令和3年度整備予定導管

- 整備内容
 - ・ 温水管 (468m)
 - ・ 冷水管 (38m)
- ・ チカホピット内に整備予定
- ・ 北3西3計画への供給を想定